

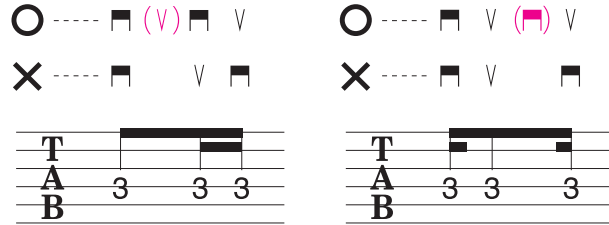
注意点1



リズムを安定させるカギは空ピッキングにあり!

メイン・フレーズ1小節目1&2拍目の8分音符と16分音符が混じるフレーズは、空ピッキング(空振り)を入れながら16分音符のオルタネイトをキープすると、正確なリズムで演奏できるだろう(図1)。ただし、空ピッキングを入れることを意識し過ぎると、右手の振りが乱れることがあるので、ダウン&アップの動作を自然に続けるように心掛けてみてほしい。

図1 8分+16分音符フレーズのピッキング



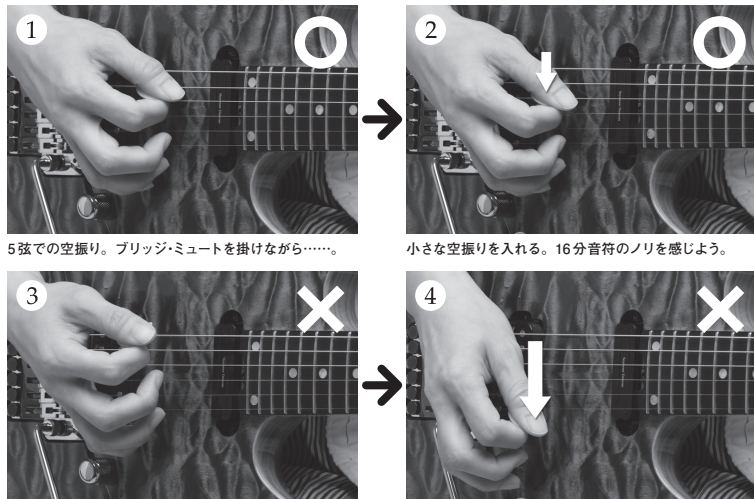
空ピッキングを入れないと、ピッキングの順番が乱れてしまうので注意しよう。

注意点2



右手側面を支点に右手を小さく振ろう

メイン・フレーズは、ブリッジ・ミュートを掛けながら空ピッキングを入れるので、ミュートが外れないように右手をコンパクトに振ることもポイントになる(写真①~④)。ブリッジに触れている右手側面部分を支点にして手を上下に動かすと、ブリッジ・ミュートのポジションをキープしたまま、小さな空ピッキングが行なえるだろう。



① 5弦での空振り。ブリッジ・ミュートを掛けながら……。

② 小さな空振りを入れる。16分音符のノリを感じよう。

③ 5弦にブリッジ・ミュートを掛けていても……。

④ 右手の振りが大きいと、ミュートが外れるので注意!

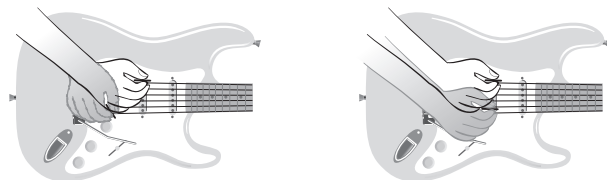
~コラム1~

地獄の戯れ言

ギター・サウンドは、ピックの角度や位置によって変化する。例えば、ピックの角度を鋭角にするほどエッジの利いた音になり、ブリッジ側で弾くと硬め、ネック側で弾くと甘いトーンになるのだ。また、弦移動に合わせて手首の位置を変えていくと、ピッキングの角度が安定するので、常に均質なサウンドが出せるようになるだろう(図2)。

ピックの角度や位置に気を配っているか? 右手の使い方とサウンドの深~い関係

図2 手首の位置について



手首の位置を固定したままでは、1弦を弾く時にピックと弦の角度が垂直気味になる。これではよい音は得られない。

弾く弦に合わせて手首の角度を変えると、ピッキングが安定するので、よい音が均等に得られるのだ。

【ダウン&アップの動作を自然に続ける】空ピッキング時に右手の振りが乱れるのは厳禁。したがって、慣れるまでは、弦にピックが当たっても構わないので、右手のダウン&アップをキープしよう。